

令和6年度 教育計画 宇和島市立玉津小学校						学校番号 014	
校長名	平岡 義光	学級数	6 (1)	児童数	44	教職員数	8

## 令和6年度 宇和島市立玉津小学校 グランドデザイン



〈校訓〉 **た**だしく **あ**かるく **つ**よく

### 玉津小シンボルキャラクター

ただしくん



あかりちゃん



つよしくん



### 〈学校の教育目標〉

感謝の気持ちと笑顔を大切にする児童の育成

### 〈目指す学校像〉

- ・地域とともにあり、地域の力を生かしていく学校（コミュニティ・スクール）
- ・児童・保護者・地域から信頼される学校

学校運営協議会を核とし、



### 〈重点目標〉

#### 地域とともに

- ・学校の教育目標の共有
- ・地域による支援体制の充実
- ・ふるさと学習の推進

#### 心の教育

- ・人権感覚の育成
- ・「ありがとう」があふれる学校

#### 安全・安心な環境

- ・いじめや不登校の未然防止
- ・災害から命を守るための学習の推進

#### 学びの充実

- ・ICT機器の効果的な利活用
- ・自ら進んで学ぶ授業
- ・学習支援の充実

<p style="text-align: center;">重 点 目 標</p>	<p><b>1 地域とともにある学校づくり</b></p> <p>(1) 学校運営協議会を核とし、地域と学校が学校の教育目標を共有し、連携・協働して児童の育成に努める。</p> <p>(2) 児童や保護者、地域と協働した閉校関連行事、閉校記念行事を実施し、感謝の気持ちを持って閉校、笑顔で新年度を迎えられる児童を育てる。</p> <p>(3) 見守り隊や読み聞かせボランティア等、地域人材による支援体制の更なる充実を図る。(教職員の働き方改革の推進)</p> <p><b>2 心の教育</b></p> <p>(1) 全ての教育活動を通して人権感覚の育成に努める。</p> <p>(2) 誰にでも笑顔で優しく接し、困っている人に声を掛け、自他共に大切に にする児童の育成に努める。</p> <p>(3) 感謝の気持ちが込められた言動があふれ、認め合い、支え合う温かい 学級・学校づくりに努める。</p> <p><b>3 安全・安心な環境づくり</b></p> <p>(1) 学校・家庭・地域が連携し、いじめや不登校の未然防止及び早期発見に 努める。</p> <p>(2) 防災学習や避難訓練を通して、自分や家族の命を守ろうとする意識を 高めるとともに、そのための実践的な知識・方法を身に付けさせる。</p> <p><b>4 学びの充実</b></p> <p>(1) I C T機器を効果的に利活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に 立った授業改善に努めるとともに、E I L Sの積極的な活用を推進する。</p> <p>(2) 学校教育活動支援員(複式学級支援員)や補充学習支援員を配置し、児 童の学習支援を充実させる。(教職員の働き方改革の推進)</p>
<p style="text-align: center;">管 理 運 営</p>	<p><b>1 人的管理</b></p> <p>(1) 安心して相談し合える風通しのよい職場づくりに努める。</p> <p>(2) 服務規律の遵守と信用失墜行為の根絶を図る。</p> <p>(3) 目標チャレンジ制度の活用を通して、働きがいや働きやすさ、職務務 遂行能力の向上に努める。</p> <p><b>2 物的管理</b></p> <p>(1) 潜在的危険個所の早期発見、施設設備の安全管理の徹底を図る。</p> <p>(2) 毒物・劇物及び薬物の安全な収納・施錠管理を行う。</p> <p><b>3 事務管理</b></p> <p>(1) 共同学校事務室と連携し、適切かつ効率的な事務管理を行う。</p> <p>(2) 個人情報 の保管・管理、厳正な会計処理と通知・通達等に係る情報共 有の徹底を図る。</p>
<p style="text-align: center;">本 校 教 育 の 特 色</p>	<p>本校は、地域と連携・協働した様々な教育活動が行われている。保護者や地 域の方々の学校への思いは強く、年度末の閉校に向けた地域との協力は不可 欠である。そのため、P T A役員を中心とした保護者や公民館等の関係機関と の連携を密にして、子どもたちの考えを大切に した閉校関連行事を実施して いきたい。また、柑橘栽培などの学習を通して、地域を誇りに思い、地域を愛 し、地域のために貢献しようとする児童の育成に努めたい。</p> <p>平成 30 年 7 月豪雨により、玉津地区は甚大な被害を受けた。災害や復興へ の思いを地域と共有しつつ、防災教育や避難訓練を通して、児童の防災意識や 災害に対応できる力の向上に力を入れている。</p>